

2014年度 夏期講座「教師のためのことばワークショップ」開催趣旨

- 1、日 程：2014年8月9日（土）、10日（日）
- 2、会 場：ラボ教育センター会議室（新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル13階）
- 3、主 催：公益財団法人ラボ国際交流センター（東京言語研究所）
- 4、後 援：日本教育新聞、朝日新聞（申請中）
- 5、募集人数：40名
- 6、参加費：12,800円（2日間）
- 7、開催趣旨：

2013年12月、文部科学省は、グローバル化に対応した教育環境作りと、小中高等学校を通じた英語教育改革を目的とした「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を公表した。この実施計画の中で謳われている「小中高等学校を通じて、国語科をはじめ全教科等で説明、論述、討論等の言語活動の充実」という方向性は、「言語力」の育成重視の姿勢が示された現行の学習指導要領の方針と軌を一にしている。学習指導要領が述べる「言語力」とは、「知識と経験、論理的思考、感性・情緒等を基盤として、自らの考えを深め、他者とコミュニケーションを行うために言語を運用するのに必要な能力」（2007年8月「言語力の育成方策について（報告書案）」言語力育成協力者会議）を指すが、今後、小中高等学校を通じて、国語科をはじめとする全ての教科に通じる「言語力」を充実させるための教育活動が一層重要性を増すことは確実だろう。

こうした情勢の変化を予測し、東京言語研究所では、過去4年間、言語学の知見を基盤とした、「教師のためのことばワークショップ」を開催してきた。言語を教える技術の習得にとどまらず、子どもたちが、言語そのものが持つ不思議・面白さにふれ、言語の基盤となすものへの興味・関心を持つための技（アート）を、参加型ワークショップを通じて体得してもらうことがねらいであった。過去の講座には、小中高等学校の教員をはじめ、民間の英語教育関係者や日本語教師、フリーライターなど、多彩な顔ぶれが参加し、日常の教育活動では得られない貴重な「ことばへの気づき」が得られたと、好評であった。

本年のワークショップでは、「論理・思考・言葉」をキーワードに、論理的思考力を養うために必要となる基本的知識を、多様な観点から学ぶ機会を提供する。プログラムは、背景の解説のあと、基調講演と3つの講義、参加型のグループワーク、そして全体会で構成されている。最後の全体会は、今後の教育実践に役立つアイデアを全員で共有する場としたい。また、本ワークショップの数ヶ月後、フォローアップのための実践報告会を開催し、「学習→実践→学習」という学びのサイクルをつくりたいと考えている。